

フルフェノクスロン乳剤 カスケード乳剤	取扱メーカー： クミカ [*] 、BASF 原体メーカー： BASF
成分： フルフェノクスロン〔IGR（キチン合成阻害剤）〕…10.0% その他 PRTR 該当成分： メチルナフタレン〔PRTR・1種〕……………16%	性状： 黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- 主に処理された葉や汁液の摂食・吸汁により幼虫の体内に取り込まれ、昆虫などの外骨格を形成するキチン質の生合成を阻害し、殺虫作用を表わす。
- 本剤を取り込んだ雌成虫が産んだ卵のふ化を抑制する作用もある。
- 効果の発現は遅いが、残効性がある。
- 天敵や授粉昆虫に影響が少ない。
- 各種作物に対し、薬害発生の心配が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にもよくかかるように散布する。
- 幼虫の脱皮を阻害して、やがて死亡させる性質を持つ薬剤であるので、幼虫期になるべく早く散布する。
- 〈りんごの散布適期〉
- ハマキムシ幼虫発生のなるべく早い時期（若齢幼虫期）に散布する。訪花昆虫に影響が少なく、開花前後にも散布可能である。
- 〈キャベツ、はくさいの散布適期〉
- コナガ幼虫発生のなるべく早い時期（若齢幼虫期）に散布する。
- コナガ多発時には、追加散布をする。

【薬効・薬害等の注意】……………

- ボルドー液との混用及び近接散布は、ハダニ類への効果を低下させるおそれがあるので、両剤の散布間隔を十分あけて使用する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。

- 本剤の抵抗性の発達を防ぐため、作用性の異なる他剤との体系散布を行う。
- なすに使用する場合、「千両2号」、「みず茄子」では果実に薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。また、浸透性を高める効果のある展着剤の加用は、なすに薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
- おうとうに使用する場合、果実肥大期以降の散布は薬害が発生するおそれがあるのでさける。
- 適用作物（はくさい、宿根かすみそう）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8、適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 自動車などにかからないようにする。（塗装汚染）
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2、空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びフルフェ ノクスロンを含む 農薬の総使用回数	使用方法	
りんご	ナミハダニ リンゴハダニ	2000 倍	200～ 700 ℓ	14 日前まで	2 回以内	散布	
	キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	2000～ 4000 倍					
	ハマキムシ類	2000～ 6000 倍					
	ヨモギエダシヤク	4000 倍					
なし	ハダニ類 ハマキムシ類	2000 倍					
	ハダニ類						
もも	ハマキムシ類 モモハモグリガ	4000 倍 2000～					
	ケムシ類	4000 倍					
ネクタリン	ハダニ類 ハマキムシ類 モモハモグリガ	2000 倍 4000 倍 2000～ 4000 倍		21 日前まで			
	おうとう	ハマキムシ類 ヒメシロモンドクガ					4000 倍
		かんきつ					ヨモギエダシヤク ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ ミカンサビダニ ミカンハダニ
かき	カキノヘタムシガ ケムシ類 カキクダアザミウマ			4000 倍 2000～ 4000 倍			14 日前まで
	マンゴー			チャノキイロアザミウマ			
ぶどう	ハスモンヨトウ			4000 倍			
キャベツ	コナガ アオムシ タマナギンウワバ ハスモンヨトウ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ アザミウマ類 オオタバコガ	2000～ 4000 倍	100～ 300 ℓ	7 日前まで	3 回以内		
	はくさい					コナガ アオムシ ヨトウムシ	
						だいこん	アオムシ
はつかだいこん	コナガ ハイマダラノメイガ	4000 倍		7 日前まで		1 回	
わさびだいこん	コナガ	2000～ 4000 倍				3 回以内	
非結球あぶら な科葉菜類	コナガ アオムシ マメハモグリバエ	2000 倍				2 回以内	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びフルフェ ノクスロンを含む 農薬の総使用回数	使用方法	
なばな類	ヨトウムシ類 ハモグリバエ類	2000～ 4000倍	100～ 300ℓ	21日前まで	3回以内	散布	
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ アザミウマ類	4000倍		7日前まで	2回以内		
レタス 非結球レタス くぎちしや	ハスモンヨトウ オオタバコガ			3日前まで	3回以内		
トマト	ハスモンヨトウ トマトサビダニ コナジラミ類			4000倍	前日まで		4回以内
	マメハモグリバエ オオタバコガ	2000～ 4000倍					
	ミカンキイロアザミウマ トマトハモグリバエ						
ミニトマト	ハスモンヨトウ トマトサビダニ コナジラミ類	4000倍		2回以内			
	マメハモグリバエ オオタバコガ	2000～ 4000倍					
	ミカンキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	2000倍					
なす	ミナミキイロアザミウマ	2000～ 4000倍		4回以内			
	マメハモグリバエ ハダニ類	2000倍					
	カメムシ類	4000倍					
ピーマン	ミナミキイロアザミウマ			3回以内			
ししとう	オオタバコガ	2000倍					
甘長とうがらし	ミナミキイロアザミウマ	4000倍			7日前まで		2回以内
せり科葉菜類 (みつば、パセリ、 セルリーを除く)	ハスモンヨトウ			1回			
パセリ	マメハモグリバエ コナジラミ類 ハスモンヨトウ			14日前まで	3回以内		
みつば	ハスモンヨトウ ハダニ類 キアゲハ	2000倍		7日前まで 但し、伏せ込 み栽培は伏せ 込み前まで	2回以内		
ねぎ	シロイチモジヨトウ ネギハモグリバエ ネギアザミウマ クロバネキノコバエ類	4000倍		14日前まで	3回以内		
いちご	ハスモンヨトウ アザミウマ類			前日まで			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びフルフェ ノクスロンを含む 農薬の総使用回数	使用方法
きゅうり	ウリノメイガ トマトハモグリバエ	2000倍	100～ 300ℓ	前日まで	4回以内	散布
すいか	ミナミキイロアザミウマ	2000～ 4000倍		7日前まで		
	ミナミキイロアザミウマ オオタバコガ マメハモグリバエ					
	シロイチモジヨトウ	4000倍				
メロン	ミナミキイロアザミウマ	2000～ 4000倍			前日まで	
	タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む) トマトハモグリバエ					
かぼちゃ	トマトハモグリバエ	2000倍		前日まで	1回	
うり類(漬物用) (しろうり, とうがんを除く)	ミナミキイロアザミウマ			3日前まで		
しろうり	ウリノメイガ ミナミキイロアザミウマ			前日まで		
とうがん	ミナミキイロアザミウマ			3日前まで	3回以内	
にがうり	マメハモグリバエ ウリノメイガ アザミウマ類		2000～ 4000倍	25ℓ	前日まで	
ズッキーニ	トマトハモグリバエ	2000倍	7日前まで		2回以内	
未成熟とうもろこし	アワノメイガ	2000～ 4000倍				
	オオタバコガ	4000倍				
てんさい	ヨトウムシ	2000～ 4000倍			4回以内	
	シロオビノメイガ テンサイモグリハナバエ カメノコハムシ ナミハダニ アシグロハモグリバエ	4000倍				
	ヨトウムシ					
	アスパラガス		ハスモンヨトウ オオタバコガ アザミウマ類	4000倍		
しゅんぎく	マメハモグリバエ アザミウマ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2000～ 4000倍	100～ 300ℓ	7日前まで	2回以内	
	ほうれんそう			ハスモンヨトウ マメハモグリバエ シロオビノメイガ ホウレンソウケナガコナダニ アシグロハモグリバエ	4000倍	
そらまめ 未成熟そらまめ	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ	2000倍 4000倍		前日まで	2回以内	
さやいんげん	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ	2000倍				

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びフルフェ ノクスロンを含む 農薬の総使用回数	使用方法
さやえんどう 実えんどう	シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ	4000倍	100～ 300 ℓ	前日まで	2回以内	散布
未成熟ささげ 未成熟ふじまめ	ハスモンヨトウ	3000倍				
えだまめ	ハスモンヨトウ ウコンノメイガ カメムシ類	4000倍		7日前まで		
だ い ず	ハスモンヨトウ ウコンノメイガ マメシンクイガ カメムシ類 ハダニ類		32倍			
	カメムシ類	0.8 ℓ				
あ ず き	アズキノメイガ ハスモンヨトウ ハダニ類	4000倍	100～ 300 ℓ		3回以内	散布
みょうが (茎葉)	ハスモンヨトウ	2000倍		みょうが(花穂) の収穫前日まで 但し、花穂を収 穫しない場合に あつては開花期 終了まで		
みょうが (花穂)				前日まで	散布, 但し花穂 の発生期にはマル チフィルム被 覆により散布液 が直接花穂に 飛散しない状態 で使用する	
しそ(花穂) しそ科葉菜類 (バジル除く)		4000倍		3日前まで	2回以内	散布
バ ジ ル	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ					
に ん じ ん	ヨトウムシ					
タ ラ ゴ ン	ハスモンヨトウ					
つるむらさき ゆきのした ふだんそう モロヘイヤ						
かん し ょ						
食用トレニア	ハスモンヨトウ	2000倍		3日前まで		
食用ミニバラ	ミカンキイロアザミウマ			14日前まで		
き く (葉)	アザミウマ類 ハスモンヨトウ	4000倍		7日前まで		
食 用 ぎ く	マメハモグリバエ ミカンキイロアザミウマ	2000倍				
食用さくら (葉)	アザミウマ類	4000倍	200～ 700 ℓ			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びフルフェ ノクスロンを含む 農薬の総使用回数	使用方法
茶	チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャハマキ ヨモギエダシヤク チャノキイロアザミウマ チャノホコリダニ チャノナガサビダニ ツマグロアオカスミカメ チャトゲコナジラミ	4000倍	200～ 400 ℓ	摘採 7日前まで	2回以内	散布
きく ガーベラ	マメハモグリバエ ミカンキイロアザミウマ	2000倍	100～ 300 ℓ	—	3回以内	
ばら	ハダニ類	1000倍				
	ミカンキイロアザミウマ	2000倍				
宿根かすみそう	シロイチモジヨトウ	4000倍				
スターチス	ハスモンヨトウ	2000倍				
ソリダゴ	シロイチモジヨトウ					
	ハスモンヨトウ					
宿根アスター	シロイチモジヨトウ					
はばたん	コナガ					
けいとう	シロオビノメイガ					
カーネーション ほおずき	タバコガ					
りんどう	リンドウホソハマキ	4000倍	100～ 700 ℓ			